

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	「ゼノ」こぼと園		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日		2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	26か所	(回答数) 22か所
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○子どもの状態の客観的把握 ・発達部門～発達検査 ・難聴部門～聴力検査、補聴器・人工内耳、発達検査	○児童発達支援(日常の療育)の中で、子どもの状況にあわせて実施をし、発達の状態の把握、聴力の把握と聴覚保障を行っている。	○子どもの状態の把握をより的確に実施すること、保護者や訪問先施設職員に対して、より的確にわかりやすく伝えることができるように、実践と研修を重ねる。
2	○子どもの理解や状態にあわせた関わり方(遊び、働きかけ、コミュニケーションなど)	○児童発達支援のグループ療育や個別療育の中で、個々の状態にあわせて取り組んでいる。子どもの自発性、子どもにとって、楽しい、わかると感じられることを大切にしている。	○職員ひとりひとりの専門性と力量を高めるために、日常の中での職員間のコミュニケーション、研修等からの学びと共有に努める。
3	○保護者との関係～保護者の課題意識・ねがい、生活状況の把握	○児童発達支援の中で、日常的に保護者との懇談の時間を位置づけている。保護者との信頼関係を築くことを土台として、保護者の思いや生活状況等を把握することを大切にしている。	○職員の力量不足等で、保護者との関係作り等が進みにくい状況もあるため、率直に話ができる関係を築いていけるように、職員のコミュニケーションの力を伸ばしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○相手とのコミュニケーション ～保護者や訪問先施設職員の気持ちやねがい、困り感等の把握 相手にわかりやすく伝えること	○職員の子どもの状態の捉え方が的確でない時がある。 職員のコミュニケーションの力に不十分さがある。	○子どもの状態を的確に捉えることができるよう、職員間での検討や研修を進める。 相手の思いを知ること、相手にわかりやすく伝えることが前提となっていくようにコミュニケーションの力を身につける。 わかりやすい資料等を準備していく。
2	○集団生活の中での取り組み方 保育の視点での捉え方、助言の力量不足	○集団や職員体制、取り組みについて、療育の場と併行通園先との差が大きい。療育の中でできることや関わりを集団の中で生かしてもらうことにつながりにくい状況がある。	○日常の中での職員間の話し合いにあわせて、訪問支援、療育懇談会(併行通園先職員の当園の療育見学と、懇談)を継続し、その中での学びをつみ重ねて、職員の専門性と力量を高める。
3	○訪問支援の計画性 訪問先施設職員との事前の相談や連携	○1年間を見通しての計画性、連携の弱さがある。	○園内での訪問支援の実施計画を早めに行い、1年間の計画を立て、年度初めに訪問先施設職員との事前の相談や連携を行っていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	「ゼノ」こぼと園		職員数13名 回答数13名 割合100%		公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて連携ケースの資料を作成して持参している。 ・聴覚障害の場合は聴力図や資料等を準備している。 ・きこえのチェックの仕方など、やり方を伝える形にとどまっている時もあるが、騒音計（測定器）の持参等も検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの状態や課題、取り組みについての情報共有、共通理解を図るために、事前に必要な資料等を準備している。 ～発達検査 聴力検査、補聴器・人工内耳の資料等 ○子どもの状態により、訪問への不安感を軽減させるために、園の療育で使用している教材等を持参する時もある。 ○基本的にはケース担当者中心に訪問支援を実施しているが、園内の療育と訪問支援の職員体制の調整には課題がある。利用希望に対応していけるように、職員体制を検討していく必要がある。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースによって頻度多く必要な場合など、利用希望に沿っての対応が難しい時がある。 ・現場職員が連携を全て行うのは負担が大きい。 ・職員の経験年数を鑑みて、ケース担当外の職員も同行する時がある。 	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を共有することで、改善の方向を確認できている。 ・報告はできているが、振り返りと次の目標設定までに至りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問支援に携わる職員で会議を設け、目標設定や振り返りも含めて、状況把握や意見の集約、改善の方向を検討していくことが必要。 ○引き続き、保護者との共通理解に努めながら、職員間での共通理解、認識を図り、具体的な業務改善に向けて努力する。 ○保護者評価、事業所の自己評価に基づき、今後の改善に生かしていく。 ○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。訪問支援に特化した研修についても、情報を集めながら計画的な実施を検討していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できたことを、実践につなげ、また確認することで、次につながっている。 ・連携を行う前に、連携機関先への保護者の悩みや問題意識を具体的に把握するようにしている。 	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録に目を通してもらうことで、実施している。 ・余程の議案でない職員で共有したり、次にどう対応していくかと言う話込みまでに至っていない。 	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の確保が難しい。 	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録をまとめることで、分析しやすくなっている。 ・訪問先の先生と悩みを共有しながら、訪問支援先でできることのすり合わせを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「保育所等訪問支援ガイドライン」についての研修を進め、園としての訪問支援のあり方を検討していく。 ○子どもや保護者のニーズや課題の把握、訪問先施設担当者との連携を図りながら、保育所等訪問支援計画の作成を行う。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を作って話をしている。 ・十分に検討していく上で時間的に各職員間の場がとりにくい。 	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連携先に出向いて連携ケースに関する悩みや問題意識を具体的に確認するようにしている。連携先の担当だけでなく、できるだけ園長など複数の職員から悩みや問題意識などを聞かせてもらうようにしている。 ・訪問先の機関も時間的な制約が多く、じっくりと話を進めにくい場合がある。 	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で予定を組むことが必要。 	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特徴を整理し、わかりやすくまとめる工夫をしている。 	

適切な支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	10	3	・現場の実態に沿っての対応が優先しがちな印象をもつ。	○子どもに合わせた適切な支援を行うために努力をしているが、部門の増加、ニーズの多様化による職員の役割の多重化、複雑化などのため、訪問支援の計画や打ち合わせ・実施・振り返りについて、十分な時間を保障できていない現状もある。職員全体で業務改善にとりくみ、よりよい支援に結びつける努力が必要である。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	・職員間互いのスケジュール調整など早期に計画を立てる必要性を感じる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	・記録に残して確認する。 ・限られた時間の中で毎回実施することの難しさは感じている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	13	0	・事前に確認したことを踏まえて対応している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	13	0	・出来るだけ、直後に記録して抜け落ちのないようにしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	・話しの時間をとるようにしている。 ・定期的なモニタリングだけでなく、何らかの課題が発生した時点でその都度見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関（母子保健、ネウボロ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど）と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。 ○併行通園している保育所、幼稚園、こども園などとの連携支援を充実させる。そのために、訪問支援に加えて、日常的な電話や連絡帳での連携等も実施している。療育懇談会（年1回、グループごと、公開療育と懇談会）や研修会（療育研修会・聴覚障害研修会など）の開催すも通して、連携や支援の充実を図る。 ○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。 ○この地域の中での、他の児童発達支援センター・児童発達支援事業所・関係機関・行政等との連携や研修の場も通して、専門性と人間性を高めるように努める。 ○親子通園や保護者との面談、家族参観等を通して、保護者との関係作りや共通理解を進めている。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・保護者の意向を確認しながら実施している。 ・必要に応じて補足資料も作成している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	1	・情報をえながら、参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	4		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・意図をもって話をしている。 ・必要に応じて資料を作成し、保護者の理解を深めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	2	・家族参観の実施。普段から療育への参加を家族全体にひろく呼びかけている。 日々の連絡帳や必要に応じて資料を作成し、家族全体への理解を促している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・資料をもとに説明している。	○年度初めのガイダンスや入園前の説明会で、運営規定や利用者負担について管理職から説明している。現場の職員にも運営規定や利用者負担について説明する機会を設けるよう努める。 ○事前の訪問支援先との連携、保護者との面談を位置づけているが、意思の尊重、利益の最優先の観点を大切にしていけることができるように、職員の専門性や力量を高めるように努める。 ○保護者とは日常的に、直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図るようにしている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	12	1	・直接話をする事で共有しやすくしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・記録を見てもらったり、話をして確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・意図的に話の時間を作っている。 ・必要に応じて資料を作成している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	2		

保護者等への説明等	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	2	・お便りを作って配布している。	○こぼと会（こぼと園保護者会）、療育を守る親の会などへの協力と連携を深める。 ○日常的な保護者への説明や相談に関して、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、あたたかく専門性を持った支援を行っていけるように努める。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・話が共有できていることを確認するよにしている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	13	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	4		○併行通園している保育所、幼稚園、こども園などとの連携支援を充実させる。そのために、訪問支援に加えて、日常的な電話や連絡帳での連携も実施している。また、療育懇談会（年1回、グループごと、公開療育と懇談会）や研修会（療育研修会・聴覚障害研修会など）を開催することなどを通して、連携や支援の充実を図る。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	13	0	記録を見てもらって、確認している。	○訪問支援後の訪問先施設とのカンファレンス、記録作成も実施しているが、訪問先施設や保護者に対して、わかりやすく伝えることができるための専門性や力量を高めていくことが必要である。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	13	0	・話の時に、共有できているかに気をつけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・実践の時間をとっている。	○想定される緊急時等のマニュアルを漏れがないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するよう努める。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2	・時間がとりにくい。	○全国的に災害が多発している状況も踏まえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応（保護者との連絡や関係機関との連携）を図り、安全を守るよう努める。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・会議で共有し、記録に残している。	○ヒヤリハット、身体拘束について生じた事例（状況や対応のあり方等）を職員間で共有し、園児の安全と権利を守っていくことができるように努めていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・研修の時間をとっている。	○虐待や身体拘束に関する研修を全職員で行い、日常に引き付けて考え、誰もが対処できるように取り組む。 ○虐待や権利擁護に関する研修に参加し、職員全体に周知している。今後も、年間で計画的に虐待や権利擁護、身体拘束等に関する研修参加に努め、人権意識や適切な関わりを職員全体で確認し、共有していく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1		

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 「ゼノ」こぼと園

保護者数 37名 回答数 27名 割合73%

公表日 2025年 2月 28日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	10	3	1	13	・資料を作成していただいた。 ・どのような教具教材を用いたのか伺っていません。	○今年度、こぼと園として実施している保育所等訪問支援は、主に併行通園先との連携、支援として、次のように実施しています。 ・訪問支援先の担当の先生の課題意識や困り感等を把握します。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16	3	0	8	・状況がわかりません。 ・小部屋が多くあり良い。	・併行通園先での活動や遊び、他者との関わりの様子、取り組みや関わり等を把握します。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22	1	0	4	・何故するのかの説明が随時あるので助かる。	・上記のことをふまえて、連携と支援を図り、共通の方向で支援を進めることができるように努めます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18	5	1	3	・日程は事前に決められていると思う。	○事業の目的や頻度、時間等についても、わかりやすく、事前に説明を行っていくように努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	13	6	3	5	・人員不足を感じる。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	4	1	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2	1	3		○子どものことを理解し、ニーズや課題を把握した上で、保育所等訪問支援計画を作成し、支援計画に沿って適切な支援を実施していけるように、職員の専門性や力量を高めていきます。そのための実践や研修を実施していきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15	4	0	8		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	12		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	9		
保護者 への 説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	1	0	7		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	5		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	3	0	10	・覚えてない。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	20	3	0	4		
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	22	1	1	3	・その場に居ない時などに毎回丁寧に伝えてくれるので、ちゃんと見て理解してもらっているという安心感がとてもある。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	0	1	・対面以外にもノートでのやり取りもできるのが助かります。	○保育所等訪問支援計画について、保護者の方に、わかりやすく説明していくように努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2	1	1	・若い先生が増えたので不安もありましたが、みなさん保護者に寄り添ってくださる先生ばかりで、とても有難く思っております。	○保護者の方と共感的な関係を築いていくことを土台としながら、保護者の方と子どもの発達や課題等について共通理解ができるように、子育て等について一緒に考えていけるように、定期的な面談等を実施していきます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	1	5		

保護者への説明等	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	0	3	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16	4	0	7	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	22	0	0	5	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	21	4	2	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	4	2	9	○月の予定表や、行事や学習会の案内は、メール配信システムのデータ送信でお知らせしています。 ○社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や「こぼと園だより」を配布し、「ゼノ」少年牧場のホームページの中にこぼと園のホームページがあります。 ○個人情報の取り扱いについては、入園時にご説明し、同意していただいております。子どもや保護者の方の安心につながるよう、研修等も含めて、職員の質の向上に努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	1	4	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	16	0	0	11	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	4	0	3	○子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続き努力していきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	23	0	1	3	○保育所等訪問支援のあり方について、不安等を感じられる時には、担当あるいは担当以外の職員にも率直にお伝えください。よりよい方向で、保護者や訪問支援先の方々と共に取り組んでいくことができるように努めていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	23	3	0	1	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

「ゼノ」こぼと園

訪問先施設数 26か所 回答数 22か所 割合 92%

公表日 2025年 2月 28日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	22	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の困っていることなどを親身に聞いてくださってわかりやすくアドバイスをしてもらえた。 ・専門的視点からのアドバイスはとてありがたい。 ・悩みに対し園での様子を踏まえた上で出来ること、またこぼと園で取り入れている方法などを的確にアドバイス頂けた。 ・こちらからの質問にも答えてもらえるので、参考になった。 ・疑問に対しても、丁寧に教えていただき、分かりやすかったです。 ・保育所でのかかわりが本児の成長に繋がっているのか不安になることもあったが、保育所内の事情も踏まえながら肯定的に認めてくださったことで安心することができた。 ・園の様子を見ていただき、集団の中での個の育ちや発達を理解していただけてよかった。 ・子どもの姿を見て、様々な意見を伝えてくださるので、すぐわかりやすいのと相談もしやすい。 ・療育の様子を聞いたり集団での様子を見ていただくことで子どもの様子がよくわかった。 ・集団の姿と療育との姿、両方を見ながら丁寧なかかわりを一緒に考えることができたので、よかった。 ・それぞれの幼児のこぼと園での姿や保護者の思いを改めて聞くことができてよかった。助言というよりも、互いの実態を確認し合うものとなったように思う。 ・補聴器について詳しいことが聞けて良かった。 ・丁寧に寄り添って、電話での連携をこまめにさせていただいて良かった。 	<p>○概ね、わかりやすかったと評価いただき、ありがとうございます。</p> <p>○訪問支援の場だけではなく、当園での療育も見学していただける（療育懇談会等）ことが、情報共有や共通理解につながり、取り組みを共に考えていくことにもつながっていると考えられます。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	21	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも詳しく教えていただいている。 ・専門的な視点からのお話を聞けるのでよかった。 ・療育での検査の値や様子について聞かせてもらうことが役立った。 ・難聴児に対し、人工内耳等いろいろ幅広く教えていただけた。 ・補聴器について子どもへの関わり方など、とても勉強になった。 ・個に応じた特性や課題について改めて共有し、こぼと園や本園でどう援助しているかを話し合えてよかった。 ・個の育ちは理解していただけたが、集団の中で育つための配慮事項等について、もっとアドバイスしていただきたい。 	<p>○客観的な発達検査や聴力検査等もふまえて、子どもを理解し取り組みを考えていくことができるように、今後も専門性と力量を高めていくように努めます。</p> <p>○集団の中で育つための配慮や取り組みについての専門性の弱さについては、個々にあわせたアドバイスができるように、実践や研修を重ねる必要があると認識しています。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	21	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・何を質問してもわかりやすく教えていただいている。 ・こちらの質問に気持ちよく答えてくださった。 ・訪問、電話等で相談させていただき、その都度答えていただけた。 ・補聴器について、わかるまで詳しく教えてもらい、とても参考になった。 ・進学に向けてどのように考えていけばいいか質問した。同じ方向で保護者と話すための確認ができ、よかったと思う。 ・子どもの様子を見とるのに時間が必要で十分な回答は得られなかった。 	<p>○職員の力量不足もあり、十分な対応ができない状況があったことについて、お詫びいたします。</p> <p>○さまざまな質問に対して、共感的に受けとめ、児童発達支援の専門性を持って一緒に考えていくことができるように、実践や研修を重ねていきます。</p>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・取り入れやすいアドバイスを教えていただけるので実践し、困り感は無くなった。 ・その子の考え方や、理解がより深まった。 ・具体的なアドバイスをいただいたことで、保護者と課題を共通認識でき良かった。 ・保育所での姿を見てもらったり、療育中の様子を見させてもらったりしながら本児の育ちを確認しあうことで、課題や本児・保護者へのかかわり方を共有することができ、良かった。 ・保護者に対する取り組みの参考となった。 ・今後の見通しを保護者の方に伝えるのに、園だけでは伝えきれないことを、こぼと園の方からも伝えていただけてとても助かった。 ・支援員さんの子どもとの関わり方を今でも参考にさせてもらってます。 ・解消はされなかったが、こぼと園と本園で、同じ方向に向かって援助することができ、よかったと思う。 ・不安でなかなか保育者から離れられないという実態は理解してもらえた。 	<p>○幼児期の取り組みの中で、保護者支援（課題の共通認識、保護者に対する取り組みなど）の重要度の高さが伺えます。当園で親子通園や保護者懇談を位置づけていることもふまえて、保護者の状況や意識、ねがいなどを把握することを心がけ、訪問支援にも生かしていくように努めます。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	22	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも連携をありがとうございます。 ・本児が楽しみに行けているため。 ・定期的に訪問して頂けることで、本児の今現在の取り組みをどうしていけばよいかなど、明確に把握することができて良かった。 ・こまめな連携、年に2回の訪問、療育懇談会をしていただき満足している。 ・実際に支援しているところを見せてもらったり、資料も用意してもらい、保育に活かしている。 ・療育での姿と集団の姿、両方を見る機会をいただきありがとうございました。 ・より、その子に合ったかかわりを考える機会になりました。 ・訪問だけでなく、夏休みにはこぼと園での保育の様子を見せていただき、懇談にも参加できて、より子ども理解になり、また個の安心感に繋がった。 ・助言や課題解消というよりも、両施設での連携という形であってほしいと思う。 	<p>○概ね、満足していると評価いただき、ありがとうございます。</p>

<p>その他のご意見</p>	<p>ご意見を踏まえた対応</p>
<p>・いつもわかりやすいアドバイスや対応などを伝えて下さって、ありがとうございます。保育者だけの子どもの捉え方ではなく、療育的観点から助言をいただけるのでとても勉強になります。これからもよろしくお願いします。</p> <p>・今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>・丁寧にご指導して頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。"</p> <p>・いつも丁寧に支援していただき、感謝しています。少人数で療育していただき、園でも安定して過ごすことができている。</p> <p>・お忙しい中お越しいただきありがとうございます。両園での様子を連携させていただきました。卒園までクラス・友達と楽しい体験になるように進めていきたいと思えます。引き続きよろしくお願いします。</p> <p>・今後の友達との関わり方について引き続き勉強させてもらいたい。</p> <p>・園に訪問し、連携をとってくださることで、園児の様子も伝わりやすく、課題を話し合うこともできました。直接話せる機会があることで、園児の療育先での様子や、保護者とどのように連携をとっているかなども詳しく教えていただくことができました。</p> <p>・例をあげて話しをしていただいたので、わかりやすくてよかったです。ありがとうございます。2回訪問していただいたことで、課題や成長をしっかりとみていただけたと思っています。年度初めに2回をお知らせしていただけると、勤務体制も整えることができたと思えます。来年度もよろしくお願いします。</p> <p>・見学の予定など早めに計画していただけるとありがたいです</p>	<p>○貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>○ご意見をいただいた次のことについての視点を持ち、よりよい方向で取り組んでいくように努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な連携 ・訪問支援の複数回の実施 ・わかりやすい資料の準備 ・児童発達支援の観点からの助言 ・子どもへのわかりやすい関わり ・保護者支援のあり方 ・療育懇談会の実施 ・共に考えていく関係作り <p>○訪問支援についての計画性を持ち、訪問支援先施設との相談や確認を年度初めに行います。</p>